

松尾鉱山資料館だより

matsuo mine museum



松尾鉱山資料館
TEL 78-2598



ウェブサイトはこちら

鉱山の仕事を紹介「採鉱現場の安全確保」

「神さま」と呼ばれた支柱手

鉱山での仕事に、坑内でも特に岩盤が軟弱で危険な場所を、支柱を使って補強する「支柱手」があります。常に身を危険にさらし、落盤の危険を取り除くことが求められ、支柱手は「神さま」と称されていました。

昭和33年当時、松尾鉱山には59人の支柱手がいました。危険な箇所での作業のため、家に帰っても「こうすれば」と思案する事も多かったようです。支柱手として一人前



軟弱な箇所を補強する支柱手

になるには10年以上かかるといわれ、長年の勘と経験が大きく物を言い、親方ともなると、坑内の何処の資材置場にどの寸法の材料があるという事を全て頭に入れていました。支柱手

は、坑内に入る採鉱職員約1,100人の命に係わる仕事だったので、職員から敬意を払われ感謝される存在でした。

「ヤマ」を支え、危険を知らせる坑木

落盤を防ぎ、坑道を維持する支柱の材料には鉄材、コンクリートなどがありますが、坑木(木材)がもっとも多く使われました。坑木は可縮性(こうぼく)があって、盤圧(坑道を掘ると上下左右からその空間へ向かって圧力がかかる)を受けると湾曲(わんきょく)し、音が鳴ることから危険を察知することができ、保安上優れているためです。坑内の窮屈な場所でも加工が容易で使い勝手が良かったこともあり、坑木に用いる丸太の使用量は、昭和31年度の1年間で、15トン貨車60台分にも上りました。



坑道の支えに使われた坑木



図書館だより

Library news



ウェブサイトはこちら

旅行雑誌が新しくなりました

おでかけが楽しい季節になりました。便利な旅情報や新しい観光スポットなどが紹介された旅行雑誌や、文字が大きい時刻表など、旅行計画におすすめです。

眺めているだけでも気分がワクワク。旅行の予定が無くても楽しめます。



タイトル	出版
岩手食べ歩き大百科	東洋アドシステム
地球の歩き方 みちのく	Gakken
東北日帰りドライブ	ぴあ
るるぶ東北 '26	JTB パブリッシング
るるぶ北海道 '26	JTB パブリッシング
るるぶ東京 '26	JTB パブリッシング
ことりっぷ いわた	昭文社
K a p p o 岩手	プレスアート

本が壊れたときには

図書館から借りた本や雑誌のページが外れたり、破いたりしてしまった時は、破れたページをそのまま本に挟んで返却してください。修理専用の道具やのりを使って直すので、テープを貼るなど家庭での修理はしないでください。

また、水や飲み物などで濡らしてしまった場合は、すぐに返却してください。修理が早いほどきれいに直ります。図書館の本を長く利用するために、ご協力をお願いします。

